

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「多世代を対象としたスマホ・ゲーム依存相談室『Gumi』の開設」事業

スマホやゲームをやめたくてもやめられない 依存に悩む当事者や保護者の相談支援を実施

今や日常生活に欠かせない便利なツールであるスマートフォンやパソコンだが、それに伴い様々な問題も生じている。愛媛県内においてスマートフォンやオンラインゲームをやめたくてもやめられない状況にあり、日常生活に何らかの困りごとを抱えている個人や家庭を対象に、福祉分野の専門スタッフが相談に乗り、問題の解決をサポートに取り組んだ。



スマホ・ゲーム依存相談室「Gumi」の開設を知らせるチラシ

近年、増えつつあるスマホやゲームの 依存に対する無料の相談室を開設

NPO法人「Gumi」は、愛媛県松山市と同県伊予郡砥部町で相談料無料のスマホ・ゲーム依存相談室を開設している。「1日を笑顔で終われる居場所づくり」をモットーに、2018年に前身となる任意団体「まほら子ども食堂」を立ち上げ、月に1回子ども食堂を開催するとともに、地域の子どもの孤独・孤立対策、ひとり親・子育て家庭などへの家庭相談支援活動を行ってきた。そうした活動を続けるなかで、子どものゲーム・ネット利用に関する相談が多く寄せられるようになったこともあり、子どもの健全育成に関して幅広い支援を実践するため、2021年にNPO法人化し、①子どもや若者のインターネット・ゲーム依存（ゲーム障害等）の予

防に関する普及啓発、②相談支援、③交流・ネットワーク支援、④調査・研究などの事業に取り組んでいる。

昨今、学校現場では子どもがゲームをやめられず、不登校や学力低下につながる事案が起きていたり、大人においても社会生活の維持が困難になる事案が発生したりしている。しかし、このゲーム依存問題に対する研究はまだまだ発展途上にあり、受診できる医療機関や相談窓口となる行政機関は、決して多いわけではない。この問題で見逃せないのは、アルコールやギャンブル依存症と同様に、家族も巻き込んでしまうことがあることである。社会生活に支障をきたしてもネットやゲームをやめられず、それを止めようとする家族との関係が悪化し、暴言や暴力、金銭要求まで発展してしまうケースがある。そのような事案に対

して、民間でもできる支援を行いたいという思いで開設したのがスマホ・ゲーム依存相談室「Gumi」である。

ゲーム依存に関する正しい 知識と早期相談の重要性

POSCの助成を受け、2022年4月から、愛媛県全域、全年齢を対象としたスマホ・ゲーム依存の相談支援事業を開始した。松山市と、その隣町の砥部町に相談室を設けたが、2023年3月までの相談件数は79件（対面相談56件、メールや電話相談22件、オンライン相談1件）となった。年齢は0～15歳までが46件、16～22歳までが27件、23歳以上が6件で、松山市民からの相談がほとんどだったが、遠くは宇和島市や四国中央市からも相談があった。支援活動にあたっては、主に保護者からの相談に対する助言や提案、依存当事者である子どもや若者と信頼関係を築きながら一緒に考えていくアプローチを重視した。

実際に事業を行ううえで、追い詰められた状態で相談に来る家庭が多く、ゲームを巡って親子ゲンカになる、両親にスマホを没収された兄が妹のスマホを占有してトラブルになるケース、課金を要求する高校生に対して家庭が荒れるのを恐れて親がそれを承認してしまうケースなど、様々なケースが見られた。また、これらのケースの背景として、不登校や引きこもり、発達障がい、養育の機能不全などとの深い関係もうかがえた。ゲーム依存の当事者はゲームをしていない日常生活に強いストレスや不安や痛みを感じ、無理やり取り上げてしまうと、その痛みから逃げるため、包丁などで自傷行為に及ぼうとする事例にも出くわした。インターネットやスマートフォンが現代の社会生活に欠かせないものであるだけに、ゲーム依存に関する正しい知識と早期相談の方法について、各家庭を含め、より多くの人が認識しておくことの重要性を改めて感じた。



相談は対面での面談、家庭訪問や電話、メール、オンラインによる面談も可能で、社会福祉士や精神保健福祉士等のスタッフが対応



助成団体: 特定非営利活動法人 Gumi

<https://www.gumi-npo.com>



1年間の活動でゲーム依存への相談ニーズの高まりを感じています

まだまだ認知度の低いゲーム依存の問題に関心を示していただいたことで、私たち自身の孤独感が解消されました。具体的な事業においては、相談室はプライバシーやアクセス面を重視した相談場所が必要でしたが、本助成によりそれが実現できました。本助成終了後も相談ニーズの高まりを感じており、相談室を継続していくつもりです。

特定非営利活動法人 Gumi
代表理事 古谷 大志さん